

平成27年度第1回 内灘町次世代育成支援地域行動計画評価委員会 議事録（要旨）

日 時	平成27年6月29日（月）14：30～15：30
場 所	内灘町役場1階 101会議室
出席委員	石橋久子(委員長)、番匠尚（副委員長）、南口政人、多田美代、中川訓子、斉藤史代、境美砂子、前浜明子、廣瀬由美子
事務局	大徳町民福祉部長、上島子育て支援課長、中川子育て支援課長補佐、甲野子育て支援課主査、本保健センター所長、米田子育て支援センター所長、岩船子育て支援センター事務補助

1. 委員長挨拶

2. 議件

(1) 内灘町次世代育成支援地域行動計画の評価

・事務局より

- ・後期計画の各施策の評価、課題・問題点について

※委員からの主な意見と事務局からの説明

(委 員) 子育て便利ブックの対象は誰なのか。転入してきた方はどうするのか。

(事務局) 子育て便利ブックについては、主に母子健康手帳の交付から就学前が対象となっているが、学童や病院の診療時間についても記載されている。転入してきた方のために、子育て支援課窓口や保健センター、子育て支援センター窓口にも設置しているほか、町のホームページからも収集できるようになっている。

(委 員) 医療費の補助について手続き等知らない方もいるのでは。

(事務局) 昨年度より補助の対象を18歳まで引き上げたことはまだ完全に周知されていないかもしれないが、手続きについては保健センターで知らせている。

(委 員) 乳幼児健診の未受診者に関して、把握できていない子どもはいないのか。

(事務局) 乳幼児健診の未受診者に関しては、電話や保育所（園）・幼稚園とも連携して把握している。

(委 員) 就学前・就学後の気になるお子さんの保護者の相談の場を設けているとのことだが参加者はどのくらいいるのか。また、どのくらい行われているのか。

(事務局) 就学前の保護者の相談の場は、各年度により差があるが各保育所・幼稚園にてH25年度では延べ24回行った。就学後の保護者の相談の場は、昨年度より年1回設けているが、日曜日ではなく土曜日に行なったこともあり少なかったが20名程度

参加者があった。

(委員) ファミリー・サポート・センターの提供会員の増員が課題とあるがどうしてか。

(事務局) ファミリー・サポート・センターについては、活動があるかないかわからないものがほとんどで、開設当初に登録して下さった方は今電話してもなかなか都合がつかない場合も多い。活動内容によっては1人の依頼会員に数人紹介する場合もあるため、同じ人ばかりに頼ってしまっている部分もある。

(委員) 食育の推進について、保護者は参加しないのか。

(事務局) 学校の授業の中で行っているためである。学校によってはPTA総会や参観日のようなときに行なう場合もあり、毎年少しずつ保護者の参加も増えてきている。

(2) その他

(委員) 昨年度から保育所(園)の申込み手続きが変わったが、説明がわかりづらく保護者から不安の声がたくさん聞かれた。これから制度が変更になるときにはわかりやすい説明があったらよい。

(事務局) 文章だけでは伝わりづらく、図にして説明するとわかりやすかったように思う。広報、窓口での対応に活かしていきたい。

■今後について

内灘町次世代育成支援地域行動計画の前期計画から10年が経過し、今年度からは子ども・子育て支援事業計画に移行していく。新しい計画についてもPDCAを実施し、実現に向けて取り組んでいく。

以上